

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.23
平成24年12月7日

きんちゃんとともに—PTAあいさつ運動ありがとうございました！

PTA挨拶運動が12月3日（月）から7日（木）まで行われました。寒風の吹きすさむ早朝から、PTA役員の皆様は、子ども達のために笑顔で挨拶を交わしてくれました。ありがとうございました。恒例のきんちゃんのマスコットは、今年も子ども達に人気で、手をつないだり、触ったり、抱きついたりなどして、なかなかその場を離れない子もいたほどです。

あいさつは、「**自分から、大きな声で、にっこり笑って**」をキャッチフレーズに、来週から児童会でもあいさつ運動に取り組みます。あいさつの重要性は、学校でも企業でもよく言われます。

そこで、あいさつの効用について触れたいと思います。あいさつは、「**相手の心の扉を開くカギ**」と言われます。この言葉を聞いて、「なるほど、名言だな〜」と思われた方も多いはず。「**心のドアノブは内側にしかついていない**」というもの。他人がいくら開けようとしても開かないものです。しかし、相手に対して信頼・信用が生まれると開こうとする。それが心の扉です。そして、その扉を開くカギとなる第一歩、それが「挨拶」だと考えます。

PTAや児童会によるあいさつ運動をきっかけに、桜小学校にあいさつの輪が一層広まり、互いに心の通い合う学級・学年・学校を築いていけたらと思います。



全校朝礼の話より（12／3）

今日は、「人権」についてお話をします。

来週、12月10日（月）は「世界人権デー」です。日本では、明日、12月4日（火）から、「世界人権デー」までの1週間を「人権週間」とし、日本中の人々が人権について考え、振り返る1週間となっています。

では、「人権」とは何でしょう。「人権」とは、人が人から差別されることなく、すべての人が自由に、安心して生きていくために、最も大切にしなければならないものです。

しかし、残念ながら、肌の色が白いか黒いかということによる差別（人種差別）、男だから女だからという性別による差別、障害や病気をもつ人への差別等々、世の中には（大人の社会には）、いろいろな偏見・差別があります。この偏見・差別こそ、一番人権を踏みにじる（大切にしない）行いです。社会的に弱い立場の人への差別・いじめは絶対に許されないことです。

ところで、学校でも、皆さん一人一人が「幸せに楽しく生活する権利」があります。学校で、「人権」は大切にされていますか。差別・いじめはないでしょうか。ふだんの学校生活を振り返ってみてください。自分の周りに、悪口を言われたりいやなことをされて、泣いている子はいませんか。みんなにバカにされたり、仲間はずれにされて、悲しい思いをしている子はいませんか。そんな子が一人でもいると、クラスや学校は、みんなにとっての楽しい場所ではなくなってしまいます。

どうしたら、一人一人が大切にされ「楽しい学校」「居心地のよい学校」をつくることができるのでしょうか。答えの一つは、「やさしい心」をもつことではないかと思えます。みんなの周りには、大勢の友だちがいます。やさしい心をもつとは、相手の気持ちになって考えるということです。言葉や行動、すべてに、こんなことを言ったら（やったら）相手はどんなふうを感じるかなって考えることです。殴ったら殴られた相手は痛いのです。相手の（心身の）痛みには気付かなければいけません。

今日から、友達にやさしく、思いやりの心をもって接しましょう。「みんなで仲良く楽しく、また、明日も学校に行くのが楽しみ」と思える桜小学校を、みんなの協力で作っていきましょう。